

優れた「地域による学校支援活動」推薦資料

市町村名 宗像市	学校名 宗像市立 玄海小学校	過去の表彰 ・ 特になし
活動の主団体 学校支援ボランティア「匠の会」		
運営組織の構成（公民館・PTA・自治会組織等） ＜役員構成＞ 会長（1名） 副会長（3名：PTA会長・世話人代表等） 世話人（各部会代表） 顧問（2名：校長・会員若干名） 事務局（学校2名）		
匠の会7部会 ①ほしむし ②さいばい ③木工 ④菊づくり ⑤環境・緑化・防犯 ⑥学習・体験 ⑦玄友会		
地域コーディネーターの数 8名（会長・部会長・教頭）	地域ボランティアの数 59名	学校への関わり状況（頻度） コーディネーターが日常的に来校 ほぼ毎日関わっている
活動の内容		
○ 概要 学校支援ボランティア「匠の会」は、結成から12年目を迎える。会は、子どもの健やかな成長を願う趣旨に賛同する団体、個人、ゲストティーチャーなど総勢59名の会員によって組織され、学校を支援することを目的とする。		
＜各部会の活動＞ ①ほしむし：本の読み聞かせ ②さいばい：校内の花壇の花植え・整備 ③木工：物の修理・木工制作 ④菊づくり：子ども達へ年間を通じた菊づくりの指導 ⑤環境・緑化・防犯：樹木の剪定・防犯パトロール・見守りあいさつ隊 ⑥学習・体験：学習指導・教材環境づくり （習字、絵画、版画、器楽、合唱、工作、俳句、英会話、パソコン、昔遊び、郷土の歴史、お茶、お花、化学、野外、球技、スポーツ、ストーリーテリング、稲作、野菜づくり、果物作り、河川的环境教育、ごみ問題、校内環境づくり、教室環境づくり、保険安全指導、点字体験、車いす体験、手話指導、学校教育全般支援）		
（別添）総会資料 参照		
○ 特色ある取組		
<ul style="list-style-type: none"> 菊づくり部会では、年間を通じた菊づくりの指導を行っている。子ども達は、日常的に名人の指導を受けながら、一人一鉢の菊づくりに取り組む。咲かせた花は、宗像大社の菊花展にも出展されている。 毎月1回、ほしむし（読書ボランティア）による読み聞かせを行っている。学校行事の読書祭りでは、大型紙芝居やパネルシアターを実施した。 防犯部会では、見守りあいさつ隊を募り、毎日、登下校時の安全指導を行っている。 学習支援部会では多種多様な学習支援を行っている。 学校文化祭・感謝の集いで多くの地域住民に取り組みや成果を周知している。 情報誌により、取り組みや成果を地域へ発信している。 		
○ 推薦に相当するポイント		
<ul style="list-style-type: none"> 「匠の会」は7部会で構成されており、幅広い関係者の参画を得て効果的に運営されている。会長・各部代表世話人・教頭がコーディネーターとなり、各部と学校との調整を行い効果的な学校支援ができています。 コーディネーターの調整で、年間を通して計画的・継続的に活動が行われている。その取り組みは、本年度で12年目を迎える。 日常的に会長が職員室を訪れ、学校のニーズを把握しているが、更に、地域コミュニティーである田島コミュニティー防犯部会や青少年育成部会等とも連携して活動の輪を広げている。 		

学校支援ボランティア「匠の会」活動報告書（写真）

1. 活動の目的

子どもたちのいっそうの健やかな成長を願い、保護者をはじめ、地域の方々、ゲストティーチャーにより学校を支援することを目的とする。

2. 活動の効果

- 子どもたちは、自然や社会に直接関わることによって学ぶ意欲を高め、より豊かな知識を得る。そして学んだことを活用することで更に意欲や自信を増しより確かなものへと高めることができる。
- 新学習指導要領にもこれまで以上に体験的な活動の充実、基礎的・基本的な知識や技能を活用して課題を解決する学習が重要視されている。保護者・地域の人材等（ひと・もの・こと）を活用してより充実した教育活動の展開が図られる。
- 学校と地域の連携体制を図ることにより、教師が子どもと向き合う時間の充実が図られる。

3. 活動の内容及び実施方法

(1) 玄海小学校応援団実行委員会（学校支援ボランティア「匠の会」）の開催

- ① 5月15日（金） 昨年度の実績紹介と本年度の事業計画・役員・部会・会則等の承認【資料1】
- ② 9月9日（水） 玄海小文化祭（読書まつり・菊花展）における感謝のつどいについて【資料2】
- ③ 1月15日（金） 本年度の事業実績、次年度の役員体制について



(2) 広報活動の実施

- ① PTA総会において、学校支援ボランティア「匠の会」の説明と会員募集のお願い【資料3】
- ② 学校支援ボランティアの地域への呼びかけ【資料4】

(3) 学校支援ボランティアの実施

匠の会組織より

- ほしむし—絵本の読み聞かせ（1～6年生 各クラスに1名）
毎月第1月曜日 8：40～8：55 ボランティアサークル「ほしむし」による読み聞かせ



サークル「ほしむし」による読み聞かせ



「ほしむし」による読書まつりでの発表



- 菊部会—総合学習の支援「菊の栽培」（3・4年生は小鉢での小菊づくり、5・6年生は大鉢の3本仕立ての大菊に挑戦）



菊苗を育てる



輪台を付けて花芽を補強



宗像大社菊花展に展示

- * 菊部会の支援ボランティアの取り組みについては、本年度9月に福岡県教職員互助会の季刊誌「都久志だより」学校紹介掲載の依頼があり取材を受ける。詳しい内容については「都久志だより No.158号」参照【資料5】

○環境・緑化・防犯部会—「こども見守りあいさつ隊」を結成し地域の方にプレートや腕章を渡し、登下校や休日の生活での交通指導や不審者対策など子どもたちを見守ってもらう。【資料6】



子ども見守りあいさつ隊の打合せ

防犯プレート

児童の安全指導

○木工部—施設の修理や子どもたちの木工製作補助

○学習体験—教科・学校行事等に関わる支援ボランティア【資料7】



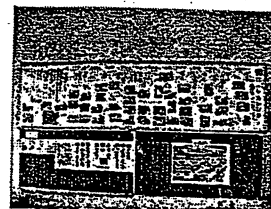
米づくり指導



ストーリーテリング(民話)



パソコン指導



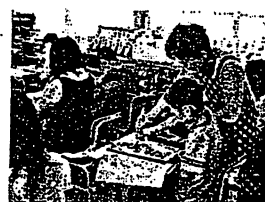
木工部作成菊ごよみ
パネル



野菜(大豆)づくり指導



音楽指導



習字指導

(4)成果発表会の実施—(学校支援ボランティア「匠の会」会員への感謝のつどい)

○11月7日(土曜日)—学校文化祭「読書まつり・菊花展」の中で実施

○参加者 全校児童、保護者、地域の方々、学校支援ボランティアの方々

○オープニングの中で、お世話になったボランティアの方に感謝の気持ちを伝える。

本年度は「匠の会」10周年の節目にあたり、児童からのおたよりの他に、P.T.A・学校からこれまでお世話になった方々に感謝状を渡した。



お礼の言葉を伝える児童代表



お礼の手紙を渡す児童たち



感謝状を渡すP.T.A会長さん

(5)情報発信—学校支援ボランティアの活動については、情報紙「ふらっと通信」にて地域に紹介【資料8】

4 成果と課題

(1)成果

○実体験をととした活動や専門の知識を有する方とのふれあいをととして、学習に幅が広がり、子どもたちはより豊かな学習の機会を得ることができた。

○教師の指導力だけでは教えられない部分を学校支援ボランティアの方の指導をととして補うことができ、教師の児童に係わる時間、一人一人の児童を見つめる時間が増えた。

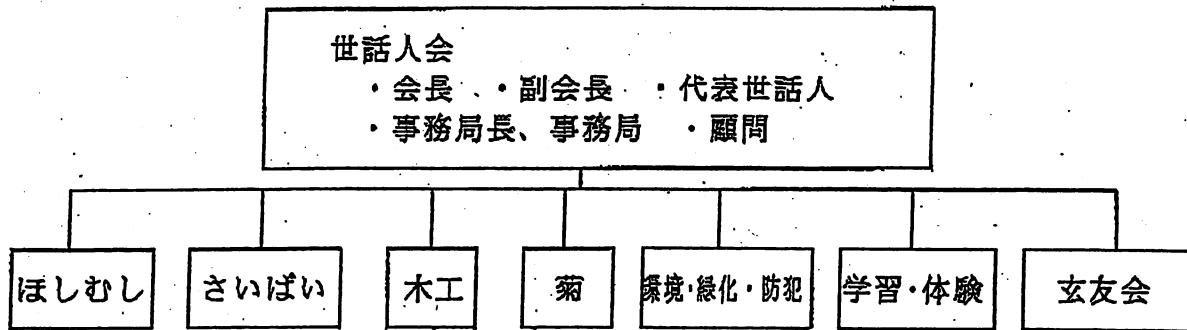
○感謝のつどいととして、児童・学校・P.T.Aの感謝の気持ちを直接伝えることができた。

(2)課題

○学校支援ボランティアの方が固定しがちである。新たな人材の確保について保護者を含めた取り組みを実行委員会で検討していきたい。

学校支援ボランティア「匠の会」

1. 「匠の会」の組織



2. 各クラブ(部)の主な活動内容

- ①ほしむし：子ども達に本の読み聞かせをする
- ②さいばい：学校内の花壇に花を植える、花壇の整備
- ③木工：物の修理、子ども達に必要なものの木工製作等
- ④菊づくり：子ども達に菊作りの指導をする
- ⑤環境・緑化・防犯：樹木の整備、剪定・防犯パトロール等
- ⑥学習・体験：授業に入り、子ども達の指導や教材・環境作り等
 - ア. 習字指導、絵画指導、版画指導、器楽指導、合唱指導、工作指導、俳句指導
 - イ. 英会話指導、パソコン指導
 - ウ. 昔の話や遊びの指導、玄海町の歴史の話・指導
 - エ. クラブ指導(お茶、お花、パソコン、科学、野外活動、球技、スポーツ等)
 - オ. ストーリーテリング(お話を覚えて、語りかけるように話す。)
 - カ. 農業(稲作り、野菜作り、果物作り等)
 - キ. 環境教育(河川の環境、ごみ問題等)
 - ク. 校舎内環境作り(廊下掲示環境作り、教室環境作り等)
 - ケ. 保健安全指導(交通安全、カウンセリング、保健指導、栄養指導等)
 - コ. 福祉教育(点字指導、車椅子体験、手話指導等)
 - サ. その他
- ⑦玄友会：学校教育全般の支援

※ 自分の特技や技術、興味・関心のあることをぜひ子ども達に伝え、地域の子
どもを育てるために力をお貸しいただけるようよろしくご協力をお願いします。
す。

※ 学習内容によっては、学校より依頼がないこともあります。その節は誠に申
し訳ありません。